

# 小田原市における市民活動支援施設の現状と今後について 「市民活動サポートセンター」

平成 25 年 8 月 15 日

第 2 回会議

資料 3-2

## ●施設の概要（所在地、設置目的、開設年月、規模・面積等）

所在地：小田原市本町一丁目 5 番 12 号（小田原市民会館 4 階）

設置目的：市民活動（小田原市市民活動推進条例第 2 条第 1 項に規定する市民活動をいう）を支援するため

開設年月：平成 13 年 4 月

規 模：ミーティングルーム 2 室・ワーキングコーナー・  
展示コーナー・交流サロン・情報コーナー

設 備：印刷機・コピー機・紙折り機

施設面積：294.6 m<sup>2</sup>



## ●運営体制の概要（運営体制、業務内容等）

運営体制：

平成 13 年 4 月～ 公設公営（正規職員 1 名・臨時職員 1 名体制で運営）

平成 18 年 4 月～ 公設民営（指定管理者「NPO 法人市民活動を支える会（スタッフ 12 名）」による管理運営）

業務内容：

- (1) サポートセンターの使用許可に関する業務
- (2) サポートセンターの維持管理に関する業務
- (3) 市民活動に関する情報の収集及び提供、相談並びに連絡調整に関すること。

## ●実施事業（提供しているサービス、既存の実施事業等）

### (1) 情報収集・提供業務

サポートセンター主催事業の告知や報告、登録団体をはじめ市や社会福祉協議会のボランティア募集情報、登録団体の講座・イベント情報などを、収集・整理してサポートセンターホームページに掲載している。また、サポートセンター主催事業や登録団体の紹介などを掲載している情報誌「サポセン通信「城」」を年 4 回発行（平成 16 年度開始、のべ 36 回・1 回約 400 部発行）し、公共施設配架や登録団体へ配布するなどして市民活動を周知している。

### (2) 相談業務

サポートセンターで随時受け付けているほか、市民活動団体パネル展でも相談コーナーを設置するなど、施設外でも相談を受け付ける機会を設けている。相談は、施設・設備の利用やボランティア活動など、これから活動をはじめたい人や今行っている活動を継続または広げたいと思っている団体からが主である。

### (3) 交流事業

毎年 1 回全登録団体を対象にした交流会（平成 21 年度開始、全 4 回、のべ約 200 団体 400 人参加）また、テーマ・ジャンルをしばった情報交換会（平成 13 年度開始、過去 5 年で、のべ約 60 団体参加）など、登録団体同士が交流できる機会を年数回作っている。また、団体の活動を多くの市民に知ってもらえるよう、「サポセン祭り（年 1 回）」（平成 17 年度開始、過去 5 年で、のべ約 410 団体参加 16,100 人来場）や「パネル展（市内 3 か所で実施）」（平成 13 年度開始、過去 5 年で、のべ約 300 団体参加）を開催し発表の機会も提供している。

### (4) 学習機会提供事業

市民活動をはじめめるきっかけの創出や登録団体のためのパソコン講座（平成 18 年度開始、過去 5 年で、のべ約 200 人受講）を実施している。

また、登録団体を受け入れ先として、小中高生を中心に、大学生から一般までと、幅広くボランティア体験の機会を毎年夏休み期間に提供している。（平成 17 年度開始、過去 5 年で、のべ約 110 団体、1,700 人参加）

## ●施設の利用状況（開設時・直近2年）

年度	登録団体	年間のべ利用者数	1日の平均利用者数	備考
平成13年度	157団体	6,883人	22人	開設年度
平成23年度	399団体	17,640人	58人	
平成24年度	404団体	17,361人	56人	

## ●果たしてきた役割

- ・市民活動の活性化・推進
- ・市民活動の場及び設備の提供
- ・市民活動に関する情報収集及び発信
- ・市民活動に関する各種相談の受付
- ・市民活動団体間のネットワーク形成
- ・市民活動に関する学習及びボランティアを行う機会の提供

## ●評価

- ・サポートセンターを開設したことで、市内でどのような市民活動団体がいるのか把握することができ、市民活動を始めるきっかけや発展させるきっかけを作ることができた。
- ・指定管理者制度による運営に切り替えたことで、市民目線での運営となり、市民が少なからず運営側（行政）に対して感じていた壁がなくなるとともに、柔軟な考えによる運営により、利用者数及び登録団体数の増加につながった。
- ・開設当初は交流会とパネル展の2事業のみだったが、指定管理に伴い徐々に事業数と事業規模が拡大し、現在では10事業以上を実施している。また、各事業に参加する登録団体や市民も増えており、市民ニーズに合った事業が実施できていると考える。
- ・利用者数・登録団体数・実施事業数及び、事業における参加登録団体数・参加市民数の増加から市民活動の活性化という役割を果たしてきた。
- ・指定管理者は研修会等に参加し、事業やサービスの充実を図るなど、施設の設置目的を果たす努力をしている。また、指定管理料のみを財源に運営を行っているため、支出の削減意識も高い。
- ・サポートセンターは、小田原市の市民活動の発展に大きく寄与してきたが、今後ニーズは、多様化・高度化していくことが予想されるため、それに対応できるスキル・能力を備える必要がある。

## ●今後期待する事業展望

継続したいこと	拡充したいこと	新たに実現したいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運営</li> <li>・情報誌の発行</li> <li>・ボランティア体験の機会提供</li> <li>・市民活動をはじめるきっかけを作る講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人に関する各種相談</li> <li>・市民活動団体と地域活動団体（自治会）をつなぐ事業</li> <li>・企業や大学といった組織と市民活動団体の交流</li> <li>・企業の市民活動への理解の向上、社会貢献活動の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動に関わる方だけでなく、世代や分野を超えた交流の仕組み作り</li> <li>・多様化するニーズに対応できるスキルの習得</li> <li>・市内ボランティア情報の一元管理</li> <li>・民間の地域貢献力の育成等</li> </ul>